

〈特集「否定, 形容詞と連体修飾複文」〉

言語データ「否定, 形容詞と連体修飾複文」
—クメール語—

Data, Special Issue : “Negation, adjective, noun-modifying clauses”
-Khmer-

上田 広美
Hiromi Ueda

東京外国語大学大学院総合国際学研究院
Tokyo University of Foreign Studies

要旨 : 本稿は, 特集「否定, 形容詞と連体修飾複文」の調査票に基づきクメール語の資料を収集したものである.

Abstract: This article provides Khmer data collected by using the questionnaire prepared for the special issue “Negation, adjective, noun-modifying clauses”.

キーワード : クメール語, カンボジア語, 否定, 形容詞, 連体修飾複文

Keywords: Khmer, Cambodian, negation, adjective, noun-modifying clauses

1. はじめに

クメール語の否定辞は, /mun/ と /ʔot/ と /pòm/ の3種類があり, 主に文体によって使い分ける. 所有・存在構文には述語として用いる /kmèən/ と /ʔot/ があり, 主に文体によって使い分ける. また, 名詞類の否定は異なる形式 /mun mèn/ を用いる. さらに, 否定文の文末には, /tèe/ , /soh/ , /laaj/ , /dae/ などの文末詞が現れることが多い.

連体修飾節の始まりには, /dael/ を用いることがあるが, 必須の要素ではない. 発話や思考にかかわる動詞の補文節の始まりには, /thaa/ を用いる. この /thaa/ は本動詞「~と言う」としても用いられる.

以下, アンケートに従って言語データを示す. 例文とそれに関する判断は, バン・ソパタナ氏¹にご教示いただいた. 以下, 本稿の表記は音韻表記で, 坂本(1988)に従う.

2. データ

1. これは私の本ではない.

nih	mun	mèn	(cèə)	siənpʰəv	knom	tèe
this	NEG	true	COP	book	1SG	PTCL

名詞述語文/コピュラ文の否定には, 名詞の前に /mun mèn/ を置く. この例のようにコピュラ /cèə/ が現れないことがある.



本稿の著作権は著者が保持し, クリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際ライセンス(CC-BY)下に提供します.
<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>

¹ カンボジア王立プノンペン大学国文学科教員. 本稿へのご協力に深く感謝する.

2. この部屋には椅子がない。

nəv bəntòp nih kmèən kavʔəj tèe
in room this not have chair PTCL

存在文の否定には、述語として /kmèən/ を用いる。

3. この部屋には一つも椅子がない。

nəv bəntòp nih kmèən kavʔəj tae muoj səh
in room this not have chair only one PTCL

全部否定（モノ）には、(2) と同じく述語として /kmèən/ を用いるが、文末詞として /səh/ が現れやすい。「も」に相当する表現として、名詞の前に /tae/ を置く。

4. その部屋には誰もいない。

nəv bəntòp nuh kmèən naa nəv tèe
in room that not have who be PTCL

全部否定（ヒト）にも述語として /kmèən/ を用いるが、さらに所在場所を表す動詞 /nəv/ が後続することが多い。

5. その本はこの部屋にない。

siənpʰəv nuh kmèən nəv knoŋ bəntòp nih tèe
book that not have in in room this PTCL

所在文の否定にも述語として /kmèən/ を用いる。

6. この犬は大きくない。

ckae nih ʔət thəm tèe
dog this NEG big PTCL

形容詞文の否定には、形容詞に否定辞を前置する。

7. この犬はあまり大きくない。

ckae nih ʔət səv thəm ponmaan tèe
dog this NEG much big how many PTCL

形容詞文の部分否定には、否定辞の後に /səv/ を置く。さらに、形容詞の後に「いくつ」という意味の /ponmaan/ を置き、「いくらも～ない」とすることもあ

8. この犬はあの犬より大きい。

ckae nih thəm cèəŋ ckae nuh
dog this big than dog that

比較級は、形容詞の後に、「～より」という意味の /cèəŋ/ を置き、その後に比較の対象を置く。比較の対象は必須の要素ではない。

9. この犬がその犬たちの中で一番大きい。

ckae nih thəm cèəŋ kèe knoŋ ckae vooŋ nuh
dog this big than 3PL in dog pack that

最上級は、形容詞の後に、「他のものより」という意味の /cèəŋ kèe/ を置き、その後に比較の対象を含む集団を表す前置詞句を置く。 /cèəŋ kèe/ の代わりに「最も」という意味の /bòmphot/ を用いることもある。

10. 今日はあの人は来ない。

tɲaj	nih	kɔət	ʔət	mòok	tèe
day	this	3SG	NEG	come	PTCL

自動詞文の否定には、動詞に否定辞を前置する。

11. あの人はその本を持って行かなかった。

kɔət	ʔət	jòok	siənp'həv	nuh	təv	tèe
3SG	NEG	take	book	that	go	PTCL

他動詞文の否定にも、動詞に否定辞を前置する。

12. 全ての学生が参加しなかった。 / 学生は全員参加しなかった。

niʔssət	təəŋ ʔəh	mun	baan	cool	ruom	tèe
student	all	NEG	get	enter	gather	PTCL

数量の全部否定にも動詞に否定辞を前置するが、このアンケートの例文よりも、「学生は誰も参加しなかった」という表現を用いることの方が多い。

13. 全ての学生が参加したわけではない。

mun	mèen	niʔssət	təəŋ ʔəh	cool	ruom	tèe
NEG	true	student	all	enter	gather	PTCL

この例文の数量の部分否定は、否定辞 /mun mèen/ を用いる。

14. (私は買わなかった。しかし、決して) 値段が高いというわけではない。

viə	mun	mèen	tlaj	nah naa	tèe
3SG	NEG	true	expensive	very	PTCL

文の否定は、(13) と同じく、名詞類を否定する否定辞 /mun mèen/ を用いる。

15. 走るな!

kom	rət
PROH	run

禁止は、動詞の前に禁止を表す /kom/ を置く。

16. 大きな声を出すな!

kom	sraek
PROH	shout

他動詞文の禁止も、動詞の前に禁止を表す /kom/ を置く。

17. 明日は雨は降らないだろう。

sʔæk prɔ̃hael cəə ʔət pliəŋ tɛe məəl təv
tomorrow probably NEG rain PTCL see go

推量の否定は、特別な形式は用いず、否定するものにあわせた否定辞を用いる。

18. あの人に聞こえないように、小さな声で話してくれ。

soom niijəj təc təc daəmbəj kom ʔaoj kɔət luuu
please speak a little to PROH CAUS 3SG hear

目的節の否定は、目的節の開始を表す /daəmbəj/ の後に、禁止を表す /kom/ と使役を表す /ʔaoj/ を置く。

19. 私はあなたを怒らせようと思ってそう言ったんじゃない。

kɲom mun mɛən niijəj ʔɔɲcəŋ daəmbəj ʔaoj nɛək khəŋ tɛe
1SG NEG true speak so to CAUS 2SG angry PTCL

この例文の場合、否定のスコープは否定辞 /mun mɛən/ から文末詞 /tɛe/ の間である。

20. 私が昨日買ってきた本はどこ（にある）？

siəvphəv dael kɲom tɛŋ pii msəlməŋ nuh nəv ʔae naa
book REL 1SG buy yesterday that in where

内の関係の連体修飾節（目的語）では、/dael/ を用いることもできる。(20) では、アンケートの例文にあわせて作例した。翻訳としては、このような連体修飾節も可能であるが、「私は昨日日本を買ってきた。その本はどこにある？」という表現が好まれる。

21. その本を持って来た人は誰（か）？

nɛək dael jɔk siəvphəv nuh mɔk kuuu nɛək naa
person REL take book that come COP person which

内の関係の連体修飾節（主語）では、/dael/ を用いることもできる。(20) と同じく、アンケートの例文にあわせて作例した。翻訳としては、このような連体修飾節も可能であるが、「誰がその本を持って来たのか？」という表現が好まれる。

22. この部屋が私たちの仕事をしている部屋です。

bəntɔp nih kuuu bəntɔp dael jəŋ tvəə kaa
room this COP room REL 1PL work

内の関係の連体修飾節（場所）では、/dael/ を用いることもできる。(20) と同じく、アンケートの例文にあわせて作例した。翻訳としては、このような連体修飾節も可能であるが、「部屋」という語を繰り返さずに、2回目は「場所」という語に置き換えられることが多い。

23. 足が一本折れたあの椅子はもう捨ててしまった。

kavʔəj dael bak cəŋ muoj nuh kɲom caol haəj
chair REL break foot one that 1SG dispose PRF

内の関係の連体修飾節（所有者）では、/dael/ を用いることもできる。(20) と同じく、アンケートの例文にあわせて作例した。翻訳としては、このような連体修飾節も可能であるが、「あの椅子は足が一

本折れたのもう捨ててしまった」という表現が好まれる。

24. ドアを叩いている音が聞こえる。

kɲom	luuu	soo	kèe	kòh	tvèə
1SG	hear	sound	3PL	knock	door

外の関係の連体修飾節では、特別な標識は用いない。この文のような「音」を修飾する文では、通常 /dael/ を用いない。

25. あの人が結婚したという噂は本当（か）？

taə	pèək	cəcaam	ʔaaraam	thaa	kəət	riəp	kaa	haəj	nuh
Q	word	rumor		QUOT	3SG	marry	PRF	that	
mɛ̃ɛn	ruuu								
true	PTCL								

外の関係の連体修飾節のこの例文では、/thaa/ を用いる。(20) と同じく、アンケートの例文にあわせて作例した。翻訳としては、このような連体修飾節も可能であるが、「あの人が結婚したとみんなが噂をしているが、本当か？」という表現が好まれる。

26. 私はその人が来た時にご飯を食べていた。

kɲom	kəmpòŋ	nam	baaj	pèel	kəət	mòək
1SG	PROG	eat	meal	time	3SG	come

時間節では、特別な標識は用いない。この例文では、修飾節に含まれる語数が少ないため、/dael/ を用いない方が自然である。外の関係を示す連体修飾節の例文としては、このような時間節が最も頻度が高い。

27. 私はその人が待っている所に行った。

kɲom	tàv	kənləəŋ	kəət	cam
1SG	go	place	3SG	wait

場所節では、特別な標識は用いない。この例文でも、修飾節に含まれる語数が少ないため、/dael/ を用いない方が自然である。

28. 私はその人が走っていったのを見た。

kɲom	khəəŋ	kəət	rət	tàv
1SG	see	3SG	run	go

補文節（視覚）では、特別な標識は用いない。

29. 昨日の夜、私は彼らがしゃべっているのを聞いた。

jəp	məŋ	kɲom	luuu	kèe	nijjəəj
last	night	1SG	hear	3PL	speak

補文節（聴覚）では、特別な標識は用いない。

30. 私はその人が昨日ここに来たことを知っている.

kɲom	dəŋ	thaa	kɔət	mòk	tii	nih	msəl mən
1SG	know	QUOT	3SG	come	place	this	yesterday

補文節（知識）では， /thaa/ を用いる.

31. （昨日）彼は彼が今日ここに来たと言った. / （昨日）彼は，「私は今日ここに来た」と言った.

kɔət	nijjəj	thaa	kɔət	mòk	tii	nih	msəl mən
3SG	speak	QUOT	3SG	come	place	this	yesterday

補文節（間接話法）では， /thaa/ を用いる. 直接発話はあまり用いない. とくにこの例文では，「昨日」と「今日」で聞き手に混乱を生じる可能性があるため，間接話法を用いる.

32. 私はリンゴが（あの）皿の上にあったのを食べた.

kɲom	ɲam	paom	dael	nəv	ləə	caan	nuh
1SG	eat	apple	REL	in	on	plate	that

内在節（従主・主主）では， /dael/ を用いることもできる.

33. 私はネコが家に入ってきたのを捕まえた.

kɲom	cap	cmaa	dael	cool	knoŋ	ptəəh	nuh
1SG	catch	cat	REL	enter	in	house	that

内在節（従主・主目）では， /dael/ を用いることもできる.

3. おわりに

否定辞の使い分けは，主に文体によるものと考えられるが，森（2014）では，存在を表す動詞の否定形式の選択について，後続する名詞が抽象名詞であるか具体名詞であるか，もしくは，後続する動詞の随意性によって選択されることを指摘している. 今後の調査では，存在を表す動詞の用法をあわせて考察したい. また，連体修飾節の標識である /dael/ が出現するか否かの条件については別稿に譲りたい.

略語は以下の通り. 使役 CAUS, コピュラ COP, 1 人称 1, 否定 NEG, 文末詞 PTCL, 完了 PRF, 人名 PSN, 複数 PL, 進行 PROG, 禁止, PROH, 引用 QUOT, 関係詞 REL, 2 人称 2, 単数 SG, 3 人称 3, 自由交替 /

参考文献

和文

坂本恭章.1988.「クメール語」,『言語学大辞典第1巻世界言語編(上)』, pp.1479-1505, 亀井孝, 河野六郎, 千野栄一編, 三省堂.

森奏子.2014.「クメール語の否定形式の選択: 存在動詞 meən の場合」,『東京外大東南アジア学』19, pp.17-29, 東京外国語大学外国語学部東南アジア課程研究室.

執筆者連絡先 : uedahiromi@tufs.ac.jp

原稿受理 : 2019年12月3日